

2024 年度 第 1 回 環境共生部会 レジメ

日時：2024 年 4 月 9 日（火） 15：00～16：30

場所：OBP 協議会事務所（zoom 併用）

【議 題】

1. 2023 年度環境共生部会の活動・事業の振り返りについて
2. まちなかウォークابل推進事業の補助金申請の状況報告について
3. OBP Blooming Place の拡張スケジュール案について
4. OBP Blooming Place の維持管理報告（2、3 月分）について
5. その他

次回 2024 年度第 2 回 環境共生部会開催予定

日時：2024 年 5 月 7 日（火） 15：00～16：30

場所：OBP 協議会事務局（zoom 併用）

2023 年度 環境共生部会関係 活動・事業の振り返りシート（案）

2023 年度の事業計画		2023 年度の実績	部会としての活動・事業に対する評価（案）
1.エリアとしての省エネルギー取組			
① 簡易 AEMS 運用 （2024 年度以降の事業検討が必要）	① エリアの省エネルギーの取組みとして、2023 年度も AEMS の運用を継続する。 ② 2024 年度以降の AEMS の取組みの方向性については、これまでの事業成果等を検証して中期計画との整合を図りながら検討する。 ※注 AEMS システムの運用契約については、2024 年 3 月末に長期契約（契約期間：2018 年 11 月 14 日から 2024 年 3 月 31 日まで）が終了する。	省エネルギーの取組みとして、AEMS の運用により 2023 年度のエネルギー使用量の分析を行うこととしている。今後 2023 年度実績を取り纏めて 2010 年度（基準）との比較などの分析などを行って、2023 年度末をもって事業を終了する。 【部会経過】 第 2 回部会（20230704） ・簡易 AEMS の継続に関する検討議論を行った。 第 3 回部会（20230801） ・簡易 AEMS に関する地権者アンケートの実施検討 地権者アンケートの実施（20230809～20230907） 第 4 回部会（20230911） ・アンケート結果の報告 第 5 回部会（20231003） ・アンケート結果を踏まえて、2023 年度末をもって当該事業は終了することとした。なお、2025 年度・2030 年度等を節目でエクセルを使って簡易にエネルギー使用量を把握することを方針とした。 （システム利用している地権者の意向確認の上 2023 年度末をもって事業を終了することとした。） 第 6 回部会（20231031） ・システム利用している地権者 4 社の同意が得られたので、2023 年度末をもって事業を見直すことが了承された。	【簡易 AEMS 事業の終了】 ・2018 年度から取り組んだ省エネルギーの取組みについては、エネルギー使用量について、2010 年との比較を行ってきた。 ・各ビルの更新も一周してこれ以上のエネルギーの削減は、日本全国に散らばる各社のアセットを取りまとめた取組みのステージに移行していて、その手法は再エネ由来電力の購入等になっている。 ・以上を踏まえて本事業は一定の役割を終えたと判断して 2023 年度をもって終了することとした。 【主な成果】 ・簡易 AEMS を継続するか否かについて、5 回の部会議論で、見直しの結論を得ることができた。 ・地域におけるエネルギー削減の取組みの成果を確認すると共に、対外的にその成果を他の地区に先駆けて発表してきた。 ・地権者の環境共生活動のプラットフォームづくりも目標の 1 つであり、2023 年度は 4 社がデータを活用いただいた。
② 先進事例の勉強会実施	① 勉強会について、テーマ設定やその必要性・経費等について環境共生部会で随時検討して実施するものとする。	2023 年度は実施していない。	事業を実施していないので、評価なし。

2.環境共生の実現			
①植花活動の継続と方向性の検討（生物多様性に富んだ快適な環境づくり）	① OBP Blooming Place の管理運営（継続） ② 2023 年度以降の植花活動の取組みの方向性の検討 案の1…OBP Blooming Place の拡張 【課題等】 ■ 樺根元花壇を拡張する場合は、管理運営の地権者 4 社の負担が更に増加する。 ■ 寝屋川沿い花壇の拡張のメリットや課題 ● ナチュラリスティックガーデンの特性がより活かせる花壇づくりが可能となる。 ● 大阪市の承認が必要。なお、大阪城公園事務所は現行の「ふれあい花壇制度」とは別に、OBP 協議会と「管理協定」を結ぶような方法を検討する余地があるとのこと ● 拡張する場合の経費とタイミング ・ 経費が必要(2022 年度相当の予算額が必要と見込まれる) ・ 環境共生部会での検討・合意と大阪市の承認が必要なので、2023 年度秋植え又は春植えの時期を想定。また、拡張時期までに大阪市の承認があることが前提。 案の2…2023 年度の拡張ではなく、植花活動と他の事業と連携させて活動の展開を検討する。合わせて将来的な拡張の必要性や効	① OBP Blooming Place の管理運営（継続）について 管理運営について、株式会社グリーンチームに委託して実施し、同社からは月次で詳細な維持管理報告をいただいた。毎週の管理状況及び植栽の生育状況等について写真を添えて詳細かつ具体的に報告があった。 【部会経過】 第 1 回部会（20230602） ・ 2023 年度の維持管理業務の委託契約の締結報告について了承 ・ 花壇の植物ネームタグの設置について了承 第 2 回部会（20230704） ・ 啓発看板の設置について了承（花の盗難対策） ② 2023 年度以降の植花活動の取組みの方向性の検討 第 2 回部会（20230704） ・ 大阪市と調整中の「まちなかウォークブル推進事業」を活用した OBP Blooming Place の拡張案検討 第 3 回部会（20230801） ・ 補助金を活用して花壇を PA 全体に拡張する場合の資金計画及びロードマップにより検討・議論を行った。 第 4 回部会（20230911） ・ 補助金申請に関する状況及び検討課題を報告 第 5 回部会（20231003） ・ 拡張の場合維持管理費の増高等の課題があり、2025 年度以降の実施検討案も含めて検討した。 第 6 回部会（20231031） ・ 2 年計画・5 年計画の 2 パターンの拡張案を補助金活用を前提にイニシャルコスト、ランニングコストを検討し、現状の予算程度の範囲であれば拡張を進めることとし、補助金申請の調整を継続することを決定した。 第 7 回部会（20231205） ・ 補助金申請に関する市担当者との状況を報告 第 8 回部会（20240206）	① OBP Blooming Place の管理運営（継続） 【主な成果】 ・ 維持管理に灌水など地権者の管理会社の協力を頂きながら、株式会社グリーンチームに委託して適切に実施できた。 ・ 同社から管理状況及び植栽の生育状況等について写真を添えた詳細かつ具体的な月次報告を得て適時確認を行った。 【維持管理の委託契約概要】 委託先：株式会社グリーンチーム 委託金額：金 1,753,400 円（税込み） 契約内訳：植栽維持管理費 100,000 円×12 月 材料費：100,000 円（一式） 一年草植替え費用：294,000 円 【植物ネームタグ経費】 600 円×70 枚×1.10=46,200 円 【注意看板経費】 29,000 円×1.10=31,900 円 ② 2023 年度以降の植花活動の取組みの方向性の検討 ・ 環境共生部会の現予算内で収まる 2 年計画の拡張案を決定 ・ 協議会全体として事業の優先順位の議論を前提として 2 年整備案を決定 ・ まちなかウォークブル補助金の交付については現在国からの通知待ち。 【主な成果】 ・ 補助金活用を前提にイニシャルコスト、ランニン

		果等も並行して検討する。 他事業の例…HP 等による広報活動の継続発展、ワーカー交流事業、清掃活動、夜間景観形成事業など	・ 補助金申請に関する市、国担当者との状況を報告	グコストを検討し、拡張案を取りまとめた。
②ワーカー交流の取組を通じた植花活動の展開の検討	案…2023 年度もネクストステージとなるワーカー交流事業を検討し、実施する。 【2023 年度ワーカー交流事業の目的など(案)】 ・ OBP Blooming Place をワークライフの身近に感じてもらえる交流事業として実施する。 ・ 将来的に OBP Blooming Place の花育ての活動に直接関わってもらえるような道筋づくり	第 2 回部会 (20230704) ・ ワーカー交流事業の企画案を検討。 第 3 回部会 (20230801) ・ ワーカー交流事業の企画案を継続検討した。 第 4 回部会 (20230911) ・ ワーカー交流事業の企画案 (vol.2) を検討。実施決定した。 第 5 回部会 (20231003) ・ ワーカー交流事業の企画案 (vol. 3) で実施の詳細案について確認・承認 【OBP・大阪城公園ガーデンウォークラリー】 実施期間：2023 年 10 月 28 日 (土) ～2023 年 11 月 11 日 (日) 第 6 回部会 (20231031) ・ 参加者アンケート案を了承 ・ プレイベント「ガーデンウォークラリーの写真講座」の実施状況報告 第 7 回部会 (20231205) ・ 「ガーデンウォークラリー＆写真講座」の事業全体の実施報告	第 2 回部会 (20230704) ・ ワーカー交流事業の企画案を検討。 第 3 回部会 (20230801) ・ ワーカー交流事業の企画案を継続検討した。 第 4 回部会 (20230911) ・ ワーカー交流事業の企画案 (vol.2) を検討。実施決定した。 第 5 回部会 (20231003) ・ ワーカー交流事業の企画案 (vol. 3) で実施の詳細案について確認・承認 【OBP・大阪城公園ガーデンウォークラリー】 実施期間：2023 年 10 月 28 日 (土) ～2023 年 11 月 11 日 (日) 第 6 回部会 (20231031) ・ 参加者アンケート案を了承 ・ プレイベント「ガーデンウォークラリーの写真講座」の実施状況報告 第 7 回部会 (20231205) ・ 「ガーデンウォークラリー＆写真講座」の事業全体の実施報告	ワーカー交流の取組を通じた植花活動の展開 街路空間を楽しんで歩いてもらうため、ガーデンを活用した OBP 内の周遊等を促すイベントとして、「OBP・大阪城公園ガーデンウォークラリー」を実施した。 【主な成果】 ・ 参加者（ワーカー等）に OBP Blooming Place へ足を運んでいただきガーデンの認知度向上に繋がった。 ・ 多くの参加を得るには告知や企画自体に一層の工夫が必要であった。 【開催概要】 OBP・大阪城公園ガーデンウォークラリー ・ 開催期間：2023 年 10 月 28 日～11 月 11 日 ・ 企画内容：秋の植栽（OBP Blooming Place や大阪城）をめぐる写真を撮って参加者の Instagram 等に投稿してもらイベント ・ 投稿者数：48 件 ・ アンケート回答者数：32 件 写真講座（スマホで美しく花を撮影する講座） ・ 開催期間：2023 年 10 月 28 日 ・ 開催目的：OBP・大阪城公園ガーデンウォークラリーの参加促進 ・ 参加者：11 名



				.
	③エリアの持つポテンシャルの調査・評価（検討課題）	必要な場合、検討を行う。	2023 年度は実施せず	2023 年度未実施

OBP Blooming Place 拡張スケジュール案

1. まちなかウォーカブル推進事業補助金について
- ① 2024年4月1日 大阪市計画調整局から交付内定の通知

② 内定額：170万円（補助率1/2）
2. OBP Blooming Place 拡張に関する今後の検討事項
- ① 事業内容・スケジュール検討（2024年度～2025年度）

② 必要経費見込の精査

③ 委託事業者（株式会社グリーンチーム）との調整・委託契約の締結

④ 予定地地権者と覚書のまき直し

⑤ 2025年度補助申請手続き など

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年度補助金関係	●申請手続き開始			●交付決定								●事業完了届
2025年度補助金関係			●概算要望						●本要望			●交付内定（4月）
環境共生部会（第1火曜日）	●事業計画検討	●ワーカー交流事業の実施検討				●委託契約承認（9月運営委員会）	●2025年度事業計画・予算検討					
							●ワーカー交流事業実施					
地権者調整			●調整			●覚書締結						
委託事業者調整	●実施に向けた調子					●委託契約締結						
拡張部分の植栽実施							●植栽					

※ 国・大阪市との申請手続き等の調整や事業者（株式会社グリーンチーム）との調整により変更となる場合があります。

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

2023-24 年度 2 月管理報告				
巡回実施日	2024.2.3 (土)	2024. 2.12 (月・祝)	2024. 2.17 (土)	2024. 2.24 (土)
実施時間	AM10:20~PM13:10	AM9:00~AM11:15	AM10:20~PM13:30	AM10:00~PM12:00
天候	くもり	晴れ	晴れ	くもり
気温	10℃	12℃	15℃	11℃
ツイン 21 (NW)	・夕映の花が終わりましたので不要な枯葉は今期全て切り戻し、灌水をたっぷり実施しました。	・宿根草の枯葉除去、清澄白山菊の花がら摘み、灌水をたっぷり行いました。	・宿根草の枯葉除去、たっぷりと灌水を実施しました。 ・白いレースフラワーのオルラヤが開花しています。	・雨のおかげで水が足りていたので灌水は実施していません。 ・いくつか雑草がありましたので除去しました。
松下 IMP (SW)	・カレックスの外葉を減らす切り戻しを行い、バランスを調整しました。その他、ヒューケラ等の枯葉除去、樺の落葉除去、たっぷり灌水を実施しました。 ・フウチソウが落葉期に入りましたが、美しい枯れ姿を残しています。	・エピメディウムの剪定、枯れ姿を楽しんだフウチソウの切り戻し、たっぷりと灌水を実施しました。	・ヒューケラ等の枯葉除去、たっぷり灌水を実施しました。	・ヒューケラ等の枯葉除去、エピメディウムの剪定を実施し、灌水は雨で足りていたため実施しませんでした。
住友生命 (SE)	・ガーデンシクラメンの花がら摘み、コレオプシスの剪定と切り戻しを実施し、たっぷりと灌水を実施しました。 ・樺の根を除去し、土壌環境を整えました。 ・ガーデンシクラメンがたくさん咲きはじめました。	・宿根草の枯葉除去、たっぷりと灌水を実施しました。 ・南側花壇のベルゲニアが踏まれるなどして、2 本ちぎれていました。	・ガーデンシクラメンの花がら摘み、その他宿根草の枯葉除去、ベニチガヤの切り戻し、灌水をたっぷり実施しました。	・ガーデンシクラメンの花がら摘み、雑草の除去を実施し、灌水は実施しませんでした。 ・ビル管理の方がやってくれたのかもしれませんが南北どちらの花壇にも肥料のようなものをまいた跡がありました。

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

富士通（NE）	・宿根草の枯葉除去、たっぷり灌水を実施しました。 ・樺の根を除去し、土壌環境を整えました。 ・水の切れていたアネモネが復活しました。 ・アジュガ 2 株を捕植しました。	・エキナセア、アネモネの剪定、アスターメンヒ、サルビアの切り戻し、たっぷり灌水を実施しました。	・宿根草の枯葉除去、たっぷり灌水を実施しました。	・アネモネの花がら摘みを実施し、灌水は実施しませんでした。
寝屋川沿い	・先月から引き続き今月も観賞価値のある枯れ姿であるかどうかの取捨選択を行い、全体として美しくなるように手入れをしています。 ・周辺にある常緑樹の落葉除去、アリウムメデューサズヘアの枯葉除去、エラグロステスの切り戻しを行い、灌水は全体にたっぷり実施しました。 ・ベロニカロイヤルブルー 3 株、オックスフォードブルー 5 株、モリカンディア 2 株、サルシファイ 1 株を補植しました。	・スイセンの花がら摘み、アリウムメデューサズヘアのシードヘッドのカット、灌水は雨のかからないエリアを重点的にたっぷり実施しました。 ・白いスイセンの蕾がふくらんできました。 ・各種球根の芽出しが始まっています。	・例年より気温が高く、球根の芽出しや宿根草の新芽が多くなってきましたので、グラス類と枯れ姿を残していた宿根草の切り戻しと、全体的にたっぷり灌水を実施しました。 ・切り戻しを行ったグラスは、ベニチガヤ、エリムス、カラマグロステスブラキトリカ、オーバーダム、パニカムノースウインド、チョコレートタ、スキザクリウム、ベニセタムカシアンなどです。 - 枯れ姿やシードヘッドの切り戻しを行った宿根草は、バーノニア、エキナセア、ソリダゴ、アスターメンヒ、ベロニカストラムチャレンジャー、スカビオサオクロレウカ、ボルトニアなどです。	・枯れ姿を残していたものも今回で全てカット（切り戻し）を実施しました。切り戻した後は、腐葉土のマルチングを行いました。 ・ミニアイリス、シラーが開花し、アリウムなどの球根も芽出しが始まり、チューリップは蕾が見えてきました。 ・今週もお掃除をしてくださる方のおかげで、吸い殻が数本ある程度で、ゴミは少なくなっています。

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

ツイン 21 (NW)  2/3	 2/17	 2/24
ツイン 21 (NW2)  2/3	 2/17	 2/24
松下 IMP (SW)  2/3	 2/17	 2/24
松下 IMP (SW2)  2/3	 2/17	 2/24
住友生命 (SE)  2/3	 2/17	 2/24

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

住友生命 (SE2)		
		
2/3	2/17	2/24
富士通 (NE)		
		
2/3	2/17	2/24
富士通 (NE2)		
		
2/3	2/17	2/24
寝屋川沿い		
		
2/3	2/17	2/24
寝屋川沿い		
		
2/3	2/17 スイセン開花	2/24

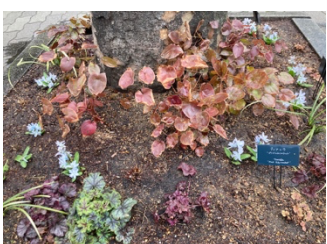
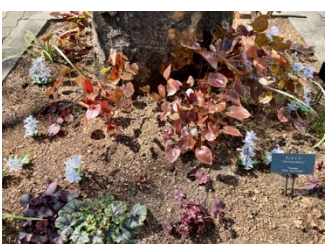
OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

2023-24 年度 3 月管理報告				
巡回実施日	2024.3.3 (日)	2024. 3.9 (土)	2024. 3.14 (木)	2024. 3.20 (水祝)
実施時間	AM10:40~PM13:00	AM10:50~13:10	AM10:00~11:30	AM8:50~11:10
天候	晴れ	くもり時々雨 強風	晴れ	小雨 強風
気温	11℃	8℃	14℃	11℃
ツイン 21 (NW)	・雑草除去とカレックスの切り戻し、灌水をたっぷり実施しました。 ・スイセンベビームーンが開花しました。	・オルレアの花がら摘み、宿根草の枯葉除去、雑草除去、灌水をたっぷり行いました。 ・スイセンがよく咲いています。	・落葉やゴミ等除去、雑草除去、たっぷりと灌水を実施しました。	- 落葉やゴミ等除去、雑草除去を実施しました。 ・雨のおかげで水が足りていたので灌水は実施していません。
松下 IMP (SW)	・不要な枯れ葉やゴミ等の除去、様子を見ながら灌水を実施しました。 ・シラーが開花しました。	・犬の糞が放置されていました。枯れ葉除去、ヤブラン、カレックスの切り戻し、たっぷりと灌水は水を要するヒューケラを中心に実施しました。	・落葉やゴミ等の除去、枯葉除去、たっぷり灌水を実施しました。 ・カラスバタンチョウソウの花のつぼみが芽吹きました。	・奥（南側）の灌水をたっぷり行い、交差点側（北側）はヒューケラに重点的に実施しました。 ・エピメディウムの新芽が芽吹き始めました。
住友生命 (SE)	・ガーデンシクラメンの花がら摘み、ステイパを短く切り戻しを実施し、灌水は実施しませんでした。 ・ベルゲニアが 3 本折れていました。	・ガーデンシクラメンの花がら摘み、フェスツカの切り戻し、剪定、たっぷりと灌水を実施しました。	・エキナセアの花がら摘み、フェスツカの剪定、たっぷりと灌水を実施しました	・ガーデンシクラメンの花がら摘みを実施、灌水は、交差点側（北側）にたっぷり行い、奥（南側）は様子を見ながら重点的に実施しました。 ・エキナセア、の新芽が芽吹き始めました。
富士通 (NE)	・アネモネの花がら摘み、ステイパを短く切り戻しました。様子を見ながら灌水を実施しました。 ・アネモネ 3 株を捕植し華やかにしました。	・雑草除去、宿根草の枯葉除去、たっぷり灌水を実施しました。	・アネモネの花がら摘み、たっぷり灌水を実施しました。 ・3/3 に捕植したアネモネが 1 株盗難に遭いました。	・落葉、ゴミ等の除去、アネモネの花がら摘み、カレックスの下葉を剪定しバランスを調整を実施し、灌水は実施しませんでした。

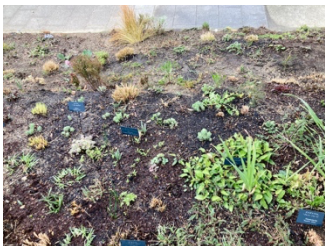
OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

寝屋川沿い	・先週切り戻したグラスからは、新芽が出てきています。冬の景色から芽吹きの中への移り変わりがあちこちで見られます。 ・お掃除をしてくださる方のおかげでゴミはほとんどなく、キレイでした。雨のかからないエリアを中心に様子を見ながら灌水を実施しました。 ・小球根のシラー、クロッカス、チューリップ、ミリス、モリカンディア、アイリス'ポーリン'(紫) が開花しています。	・斜度が急な場所に植わっていたアキレア、バーバナボナリエンスなどの位置を調整し斜面の調整を行いました。 ・古葉を残していたカレックスなど常緑のグラスを新しい葉に更新するために切り戻しを行いました。 ・アイリス'アリダ'(ブルー)、チューリップ、シラーシビリカが開花しました。 ・アスチルベ、エキナセアなどの芽出しが始まりました。	・数日は雨に恵まれています、そのために削れた土壌の整備などを実施しました。特にプロムナードの雨水が垂れる場所に腐葉土でマルチングを行いました。灌水は雨のかからないエリアは、たっぷりと、そうでないエリアは、葉などについた泥を流すために実施しました。	・少しの吸い殻ごみ等の除去、アイリス'アリダ'、チューリップ、シラーの花がら摘み、宿根草の枯れ葉除去、灌水は、雨のかからないエリアを中心にたっぷり行いました。 ・リナリア 3 株、スイセン 2 株、ラークスパーアールグレイ 3 株を捕植しました。腐葉土 1 袋でマルチングを実施しました。
--------------	--	---	---	---

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

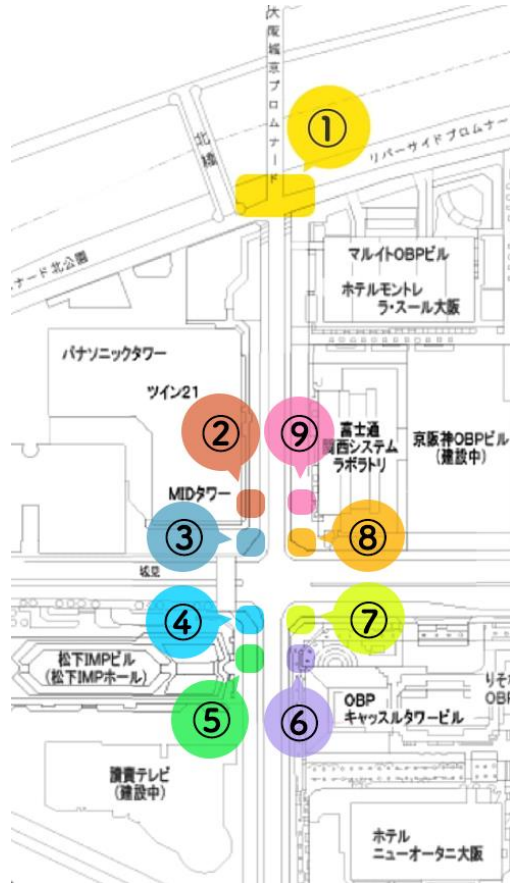
ツイン 21 (NW)  3/3	 3/9	 3/20
ツイン 21 (NW2)  3/3	 3/9	 3/20
松下 IMP (SW)  3/3	 3/9	 3/20
松下 IMP (SW2)  3/3	 3/9	 3/20
住友生命 (SE)  3/3	 3/9	 3/20

OBP 協議会の植花活動 植栽運営維持管理報告

住友生命 (SE2)		
		
3/3	3/9	3/20
富士通 (NE)		
		
3/3	3/9	3/20
富士通 (NE2)		
		
3/3	3/9	3/20
寝屋川沿い		
		
3/3	3/9	3/20
寝屋川沿い		
		
3/3	3/9 アイリス'アリダ'開花	3/20 チューリップ開花

現状

- ・一年草による一般的な植花活動と一線を画した宿根草による環境作りや景観作りにまで踏み込んだ植栽の認知が関係者間に浸透した。
- ・櫟の根元4種類の異なるデザインで一年草と宿根草の違いを認知いただいた。
- ・川沿いのナチュラルスティックガーデンと櫟の根元の花壇が点在している。
- ・徐々にプロの間で認知され他府県からの視察されるようになった。

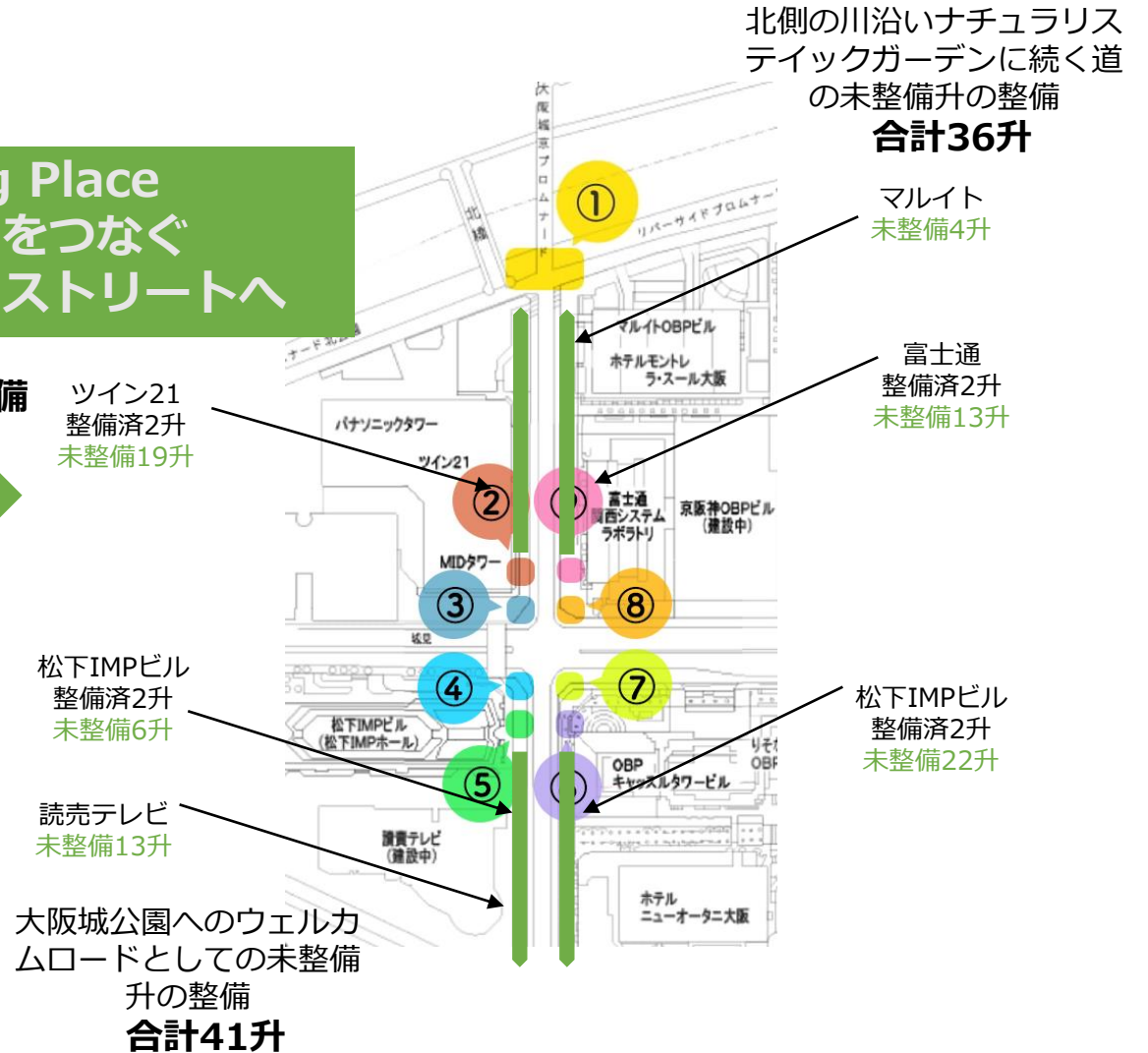


未整備77升の再整備



こうする

- ・櫟の根元全てと川沿いのナチュラルスティックガーデンを合わせて全体として連続性のあるデザインとコンセプトの統一された場所にする
- ・全国でも珍しい宿根草花壇を継続することで社会的資産とする。



パークアベニュー新規整備80升 1升あたりの宿根草花壇整備費用による試算

①イニシャルコスト（整備費用）

- ・計画準備（デザインコンセプトに基づく、植物（宿根草）選び、調達などの調整、作業工程の管理など）
- ・用土整備（櫟の根の処理、カチカチに固まってしまう真砂土を宿根草にも適した用土への改良）
- ・植栽配置（生育面では、光と風のあたり方など環境を考慮し、デザインとして見栄えのするように配慮）
- ・植え込み（適切に配置された場所への植物の植え込み）

櫟根元1升あたりに係る基準費用 7万円／升 （すべて宿根草を使用し、デザイン、用土整備から植え込みまでを含んでいます）

【80升を2年で整備する場合 （1年あたりの整備升数 40升／年）】1年目～2年目毎年 7万円／升×40升／年＝280万円／年

【80升を5年で整備する場合 （1年あたりの整備升数 16升／年）】1年目～5年目毎年 7万円／升×16升＝112万円／年

* 整備次年度以降の枯死リスクに備えた捕植費用をイニシャルコストの4%程度想定させていただきます。

* 現状8升は、特に升個別のデザインを重視してきましたので、メンテナンスの負荷がとて大きくなっております。

一方、新規80升の整備につきましては全体としてのデザインを重視させていただくとともに、メンテナンスの負荷軽減のため、個別の升だけで見ると一見単調に見える升も全体の何割かは想定させていただきます。具体的には、グラスやシロタエギクなど丈夫な植物を多く使用することや、植える種類を減らすなどの措置を取らせていただきます。これにより今までのようにシーズンを通して、何かが咲いている、何か色があるという状態ではなく、従来の公共空間における定番である緑だけの季節も存在します。枯死植物の補填やデザインの修正は捕植により行います。

しかし、全体としては、宿根草でデザインをおこなっていきますので、組み合わせを工夫することで、全て見て歩きたくなるような京橋から大阪城公園までのウォークアブルなストリートとなることへの心配はございません。

②ランニングコスト（維持管理メンテナンス費用）

- ・ 灌水（環境条件により乾湿の度合いが異なるのでそれに合わせた強弱とさらに植物の種類ごとにも変化をつける）
 - ・ 花がらつみ（枯れた花が種になり株の体力を消耗するのを防ぎ見た目を良くするために摘む作業、これを行うことで開花期はより多くの花を咲かせる）
 - ・ 雑草除草（雑草を抜く作業であるが、ナチュラルスティック植栽による見分けが難しい）
 - ・ 枯葉除去（草花の枯葉を除去することで風通しを良くしたり、光をあたりやすくしたり、病虫害の予防に役立つ）
 - ・ 切り戻し剪定（暖地のナチュラルスティックは、夏場の株の体力消耗を防ぎ、適切な時期に花が咲くように予測した切り戻しをおこなう）
- * 生育を安定させるため3年経過までは、頻繁な関与が必要となりますが、それ以降は関与を減らせる可能性があります。

既存寝屋川沿い及び8升の維持管理について

上記の基本的なメンテナンスについても、種類数が多く、開花調整のための切り戻しや高度なメンテナンスが必要となり手間がかかります。また、プロムナードの下は、雨がかからないため、慎重な灌水が必要となります。そのため、3年目以降で植栽が安定してきてもメンテナンス頻度を下げることが難しく、20%の頻度削減によるコスト削減を想定しています。

新規整備予定の80升について

全体としての宿根草ストリートであることを重視したデザインのため、既存の8升のような開花調整をおこなったり、種類数の多い管理の負荷がかかるものの割合を減らし、3年経過後は、管理頻度が半分になることを想定しています。具体的には、灌水を含め、月に2回のメンテナンスとなりますので、水切れのリスクがゼロではありません。これらのリスクには、既存のメンテナンス時の点検などで補完していくことを考えています。

40升の維持管理に係る基準費用 120万円／年（月4回程度 灌水を含み月額10万円を想定しています）

【80升を2年で整備する場合 （1年あたりの整備升数 40升／年）】

初年度40升、次年度以降合計80升の維持管理費用が発生するが、3年経過した範囲は関与頻度減少に伴い減額する。

40升の維持管理費用の推移 初年度50万円／年（5ヶ月） 2年目、3年目120万円／年 4年目以降60万円／年

【80升を5年で整備する場合 （1年あたりの整備升数 16升／年）】

年度ごとの16升の整備増加に伴う維持管理範囲増加により増額するが3年経過した範囲は関与頻度減少に伴い減額する。

16升の維持管理費用の推移 初年度25万円／年（5ヶ月） 2年目、3年目60万円／年 4年目、5年目30万円／年 6年目以降24万円／年

イニシャルコスト（整備費用）一覧 *単位：万円 全て消費税別価格

2年で80升を整備

単位：万円 * 気候変動によるリスクに備え捕植費用を植栽量の4%程度を想定しています。280×4%≒10万円

2年で整備		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
4 0 升	1年目	280	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
8 0 升	2年目	0	280	10	10	10	10	10	10	10	10	
	年間合計	280	290	20	20	20	20	20	20	20	20	730

5年で80升を整備

単位：万円 * 気候変動によるリスクに備え捕植費用を植栽量の4%程度を想定しています。112×4%≒5万円

5年で整備		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
1 6 升	1年目	112	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
3 2 升	2年目	0	112	5	5	5	5	5	5	5	5	
4 8 升	3年目	0	0	112	5	5	5	5	5	5	5	
6 4 升	4年目	0	0	0	112	5	5	5	5	5	5	
8 0 升	5年目	0	0	0	0	112	5	5	5	5	5	
	年間合計	112	117	122	127	132	25	25	25	25	25	735

ランニングコスト（維持管理メンテナンス費用）一覧 *単位：万円 全て消費税別価格

2年で80升を整備 単位：万円 * 3年経過後メンテナンス頻度を約50%程度削減できることを想定しています。

2年で整備		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
40升	1年目	50	120	120	60	60	60	60	60	60	60	
80升	2年目	0	50	120	120	60	60	60	60	60	60	
年間合計		50	170	240	180	120	120	120	120	120	120	1,360
参考)仁サル	年間合計	280	290	20	20	20	20	20	20	20	20	730

790万円

1300万円

既存維持管理費用 単位：万円 * 来年度一年草植替え費用約30万円の削減、その翌年度以降目メンテナンス頻度約20%の削減を想定しています。

既存	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
寝屋川+8升	(160)	130	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,030

合計

	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
合計	(160)	460	560	360	300	240	240	240	240	240	240	3,120
内補助額想定	—	165	230	0	0	0	0	0	0	0	0	395
内OBP負担	—	295	330	360	300	240	240	240	240	240	240	2,725

ランニングコスト（維持管理メンテナンス費用）一覧 *単位：万円 全て消費税別価格

5年で80升を整備 単位：万円 * 3年経過後メンテナンス頻度を約50%程度削減、5年経過後約20%削減を想定しています。

5年で整備		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
1 6 升	1年目	25	60	60	30	30	24	24	24	24	24	
3 2 升	2年目	0	25	60	60	30	30	24	24	24	24	
4 8 升	3年目	0	0	25	60	60	30	30	24	24	24	
6 4 升	4年目	0	0	0	25	60	60	30	30	24	24	
8 0 升	5年目	0	0	0	0	25	60	60	30	30	24	
年間合計		25	85	145	175	205	204	168	132	126	120	1,385
参考)仁サル	年間合計	112	117	122	127	132	25	25	25	25	25	735

1245万円

875万円

既存維持管理費用 単位：万円 * 来年度一年草植替え費用約30万円の削減、その翌年度以降目メンテナンス頻度約20%の削減を想定しています。

既存	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
寝屋川 + 8升	(160)	130	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,030

合計

	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年合計
合計	(160)	267	302	367	402	437	329	293	257	251	245	3,150
内補助額想定	—	68	101	133	133	168	0	0	0	0	0	603
内 O B P 負担	—	199	201	234	269	269	329	293	257	251	245	2,547